

令和3年度使用中学校用教科用図書（「教科名 保健体育」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
保健体育	大修館	<p>○基礎・基本の定着に関わって                      課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を展開するために、「課題をつかむ」と「学習のまとめ」を設けて、課題解決の過程を重視した紙面構成を工夫し、探究する態度を養うようにしている。また、本日学習をするキーワードを取り上げ、本文中での強調表示や巻末の「用語解説」などを活用し、課題解決の手立てとできるようにしている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって                      生活における様々な課題や社会の在り方について意見を発表したり、グループで話し合ったりする学習活動を通して、生徒が自らよりよい社会の形成について考えられるようにし、様々な問題を自分事として捉えて学習できるようにしている。</p> <p>○内容の構成・配列に関わって                      学習指導要領に示された内容をもとに、学年別に構成している。また、すべての学習項目は1見開き1単位時間の構成を徹底し、時間の見通しをもって指導できる分量にしている。また、学習指導要領外の発展的な内容についても本編と関連させて掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記に関わって                      すべての章のとびらには、学校や地域を俯瞰できるようなイラストを配置し、体育と保健の見方・考え方を可視化し、その働きを意識しやすくなるように配慮している。</p> <p>○言語活動の充実に関わって                      多様な表現活動（「生かそう」「話しあおう」「発表しよう」）を提示し、言語活動やグループなどで対話する場面を多く設けて、対話的・協働的に学ぶことができるように工夫している。</p> <p>○本校の研究に関わって                      現代的な諸課題について幅広く取り上げており、SDGsなどの観点から社会問題を見つめる視点などは、光輝（かがやき）の授業のテーマ設定にも活用できる。</p>